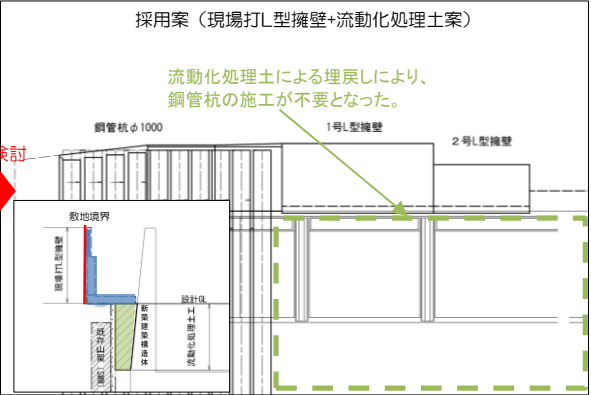
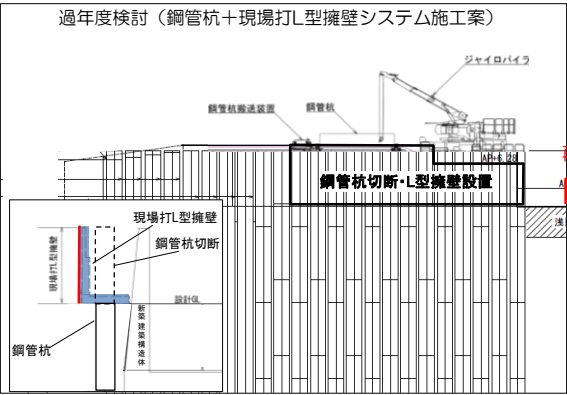
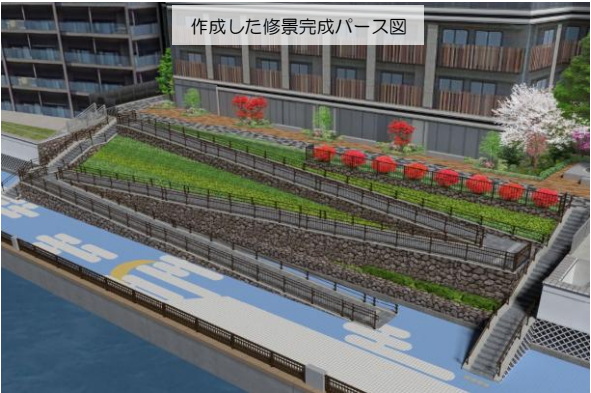


【件 名】	隅田川（柳橋二丁目地区）スーパー堤防被覆修景設計	【事務所名】	江東治水事務所
【施行場所】	東京都台東区柳橋二丁目地内	【受託者名】	シビックアーツコンサルタント株式会社関東支社
【工 期】	令和7年2月3日から令和8年2月20日まで	【主たる技術者名】	主任技術者 甲斐 集平

【委託概要】
本委託では、隅田川（柳橋二丁目地区）のスーパー堤防整備区間における被覆修景設計並びに端部堤防設置予定箇所の既設防潮堤に対する、耐震性能照査・対策工の設計及び擁壁の設計の見直し等を含めた築堤設計の補足設計を実施した。

【表彰理由】（※発注者側評価）
本委託区間は、背後地の開発事業と一体的に整備するものである。本委託は、開発事業の影響により、資機材搬入路及び施工スペースについて大きな制約を受ける他、厳しい設計条件を強いられた。さらに、開発事業の進捗遅れや施工の段取りの変更により、その都度、当工事の施工条件が変更となる等、設計条件が頻繁に変更される状況であった。加えて、事業者からは事業スケジュールの厳守を要望され、開発事業の工程に影響を与えないことが求められた。このような条件の中、受託者は擁壁の検討にあたり、事業者との調整を図りつつ、現場条件及び開発事業の工程を的確に把握、整理した上で、その都度の条件下で実現可能な施工方法を計8ケース提案・比較検討する等、高い技術力を発揮した。その結果、過年度の計画より、擁壁設置に係る直接工事費を約1/4に低減するとともに、要望された事業スケジュールを満足するために、工期が約2.5か月短縮可能となる最適な工法を提案した。

景観検討では、地元要望である「現況防潮堤壁面のなまこ壁風の修景」との調和が求められる中、開発地の外構と河川側の階段、スロープ等を含めた空間全体について検討を行い、修景イメージに合う材料や植栽の組み合わせを積極的に提案した。さらに、各案の特徴の把握が容易にできるよう、比較検討の段階から複数案のパスを自主的に作成・提案した。その結果、周辺環境との調和が図られ、景観性に優れた成果品を納めた。



【受託者の声】
◇この業務で特に苦労した点
狭隘地及び隣地との近接施工条件に加え、背後地開発事業の影響により頻繁に変更された施工条件の中、開発事業側との調整を図りながら、事業全体の工程計画を立案した点が特に苦労した。

◇この業務で特に工夫・努力した点
変更される施工条件に合わせて8ケースの施工方法を提案・比較検討し、背後地開発事業者の要望を直接聞き、当該計画に加味することで、全体的に最適な施工計画が立案できた。

◇この業務で得られたやりがいや達成感
事業者とも調整を図ることで事業スケジュール内に収められる施工計画を立案できた。また、修景設計においては地域の歴史や周辺環境との調和を図った修景案を立案できた。

